

教科	数学	観点	① 知識・技能	
学年	3年生		② 思考・判断・表現	
授業形態	分割		③ 主体的に学習に取り組む態度	
教科目標	課題が明確で、知識・技能の習得ができる授業づくり めあてと振り返りの徹底と、授業の流れの見える化と協働的な学びの意識化			
学期	単元名	学習内容	目標到達のめやす	評価する観点
1学期	式の展開と因数分解	式の乗法,除法	一次式の乗法の計算及び公式を用いる簡単な式の展開や因数分解をすることができる。 式の展開や因数分解をすることができる。 式の展開や因数分解をすることができる。	①③
		乗法の公式		①③
		因数分解		①③
		式の計算の利用		②③
	平方根	平方根	数の平方根を含む簡単な式の計算をすることができる。 すでに学習した計算の方法と関連付けて、数の平方根を含む式の計算方法を考察し、表現することができる。	①③
		平方根の値		②③
		有理数と無理数		①③
		真の値と近似値		①③
		根号をふくむ式の乗法,除法		①③
		根号をふくむ式の計算		②③
二次方程式	平方根の利用	②③		
	二次方程式とその解き方	平方の形に変形したり、因数分解したりして二次方程式を解くことができる。 平方根の考えや因数分解をもとにして、二次方程式を解く方法を考察し、表現することができる。	②③	
	二次方程式の解の公式		①③	
	二次方程式と因数分解		①③	
二次方程式の利用	②③			
2学期	関数 $y = ax^2$	関数 $y = ax^2$	事象の中には関数 $y = ax^2$ として捉えるものがあることを理解することができる。 関数 $y = ax^2$ として捉えられる2つの数量について、変化や対応の特徴を見出し、表、式、グラフを相互に関連付けて考察し表現することができる。	①③
		関数 $y = ax^2$ のグラフ		①③
		関数 $y = ax^2$ の値の増減と変域		②③
		関数 $y = ax^2$ の変化の割合		①③
	図形と相似	関数 $y = ax^2$ の利用	基本的な立体の相似の意味及び相似な図形の相似比と面積の比や体積の比との関係について理解することができる。 三角形の相似条件などをもとにして、図形の性質を論理的に確かめることができる。	②③
		いろいろな関数		②③
		相似な図形		①③
		三角形の相似条件		①③
		三角形の相似条件と証明		②③
		平行線と線分の比		①③
	円の性質	中点連結定理	円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	①③
		相似な図形の面積		②③
		相似な立体の表面積・体積		②③
		相似の利用		②③
三平方の定理	円周角と中心角	円周角と中心角の関係を具体的な場面で活用することができる。	①③	
	円周角の定理の逆		②③	
	円の性質の利用		②③	
	三平方の定理		三平方の定理の意味を理解することができる。 三平方の定理を見出すことができる。 コンピューターなどの情報手段を用いるなどして無作為に標本を取り出し、整理することができる。標本調査の方法や結果を批判的に考察し、表現することができる。	①③
三平方の定理の利用	②③			
標本調査の方法	①③			
母集団と標本の関係	③			
3学期	標本調査	データの活用と問題解決	②③	

◎評価の方法

- ①②・・・定期テストや実力(課題)テストの点数。課題など
③・・・提出物や課題の出来や提出状況。また、授業中における取り組みの様子など

◎学習のポイント(学習の進め方について)

教科書を章ごとに指導していきます。
授業の内容と並行して、ワークを行ってください。
総復習のワークを使って、3年間の復習をしてください。